

平成 27年 06月 05日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 静岡ゼロエネ住宅プロジェクトモデルプラン

グループの名称 静岡ゼロエネ住宅プロジェクト

直近採択グループ番号 ---

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名	牧田 早人	代表者印
代表者所属先	有限会社J・C・Y	
代表者構成員番号	V-2, VI-2	
代表者所在地	静岡県静岡市駿河区丸子3436-6	
代表者電話番号	054-257-6301	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社静岡エイケン	
事務局構成員番号	V-1, VI-1, VII-1	
事務局担当者名	林 俊光	印
事務局郵便番号	421-0103	
事務局所在地	静岡県静岡市駿河区丸子3436-1	
事務局電話番号	054-268-7717	
事務局FAX	054-268-7727	
事務局担当者E-mail	info@s-eiken.com	

1. 地域型住宅の名称(必須)	静岡ゼロエネ住宅プロジェクトモデルプラン
2. グループの名称(必須)	静岡ゼロエネ住宅プロジェクト
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	牧田 早人
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社J・C・Y
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	V-2, VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	静岡県静岡市駿河区丸子3436-6
10. グループ代表者電話番号(必須)	054-257-6301
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社静岡エイケン
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1, VI-1, VII-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	林 俊光
14. グループ事務局郵便番号(必須)	421-0103
15. グループ事務局所在地(必須)	静岡県静岡市駿河区丸子3436-1
16. グループ事務局電話番号(必須)	054-268-7717
17. グループ事務局FAX番号(必須)	054-268-7727
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@s-eiken.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	0	高度省エネ型のための提案とするため
II. 製材・集材製造・合板製造	1	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	6	
IV. プレカット	5	
V. 設計	2	
VI. 施工	6	
VII. 省エネルギー設備等の流通	9	
VIII. 木材を扱わない流通	3	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	欧州材	欧州	FSC/PEFC/FIPC	2	国外
	米材	北米/南米	FSC/SFI/CSA/FIPC	2	国外
	南洋材	マレーシア/インドネシア	FSC/MTCC/LEI/FIPC	2	国外
	大洋州材	オーストラリア/ニュージーランド	FSC/PEFC/FIPC	2	国外
	アフリカ材	アフリカ	FSC/FIPC	2	国外
	国内全域	国内全域	FSC/SGEC/FIPC	2	国内
	米材	北米/南米	合法木材証明制度	3	国外
	欧州材	欧州	合法木材証明制度	3	国外
	国内全域	国内全域	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計		0 戸	地域材加算合計		0 戸
	うち申請が確実	うち申請が未確定	0 戸	うち申請が未確定	0 戸	0 戸
		うち申請が未確定	0 戸		0 戸	0 戸
		うち申請が未確定	0 戸		0 戸	0 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計		0 戸	地域材加算合計		0 戸
	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸	0 戸	0 戸
うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸	0 戸	0 戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計		18 戸	地域材加算合計		0 戸	
うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸	0 戸	0 戸	
うち申請が未確定	18 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸	0 戸	0 戸	
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物					
	うち申請が確実	0 棟	0 m ²			
	うち申請が未確定	0 棟	0 m ²			

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	施工登録業者1社3棟。請負契約締結物件で、事務局へ図面確定の連絡が早い順				
---	--------------------------------------	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸
	竣工済	戸	竣工予定	戸
木造建築物				
採択棟数	棟	採択床面積	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡ゼロエネ住宅プロジェクトモデルプラン	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 静岡ゼロエネ住宅プロジェクト	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	静岡という地域柄、温暖な気候に頼りがちな住まいづくりを、断熱材に吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(A種3仕様)を用いて断熱性・気密性を向上させ、計算に裏付けられた生活エネルギーの低減を確実に図り、環境への負荷を減らす。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	日照時間が多い地域なので、降り注ぐ太陽光を有効にエネルギーに変換するため、太陽光発電を搭載する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	効率よく太陽光をエネルギーに変換するため、屋根面積を増やすための総二階、また出隅入隅を減らした南向き片流れのシンプルな屋根形状とする。低炭素住宅(太陽光発電未搭載)でも、将来的に太陽光パネルを効率よく載せやすい屋根形状とする。	○
④①～③の背景	温暖な地域のため意識が薄くなりがちな生活エネルギーの削減を、謳い文句だけではなく、しっかりと計算に裏打ちされた性能の住宅を供給する事で実現する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	構造躯体には、伐採元が明確な木材を使い、不法な森林伐採など産地が不明確な材料を使用しない事で、各地域の自然環境の悪化を抑制する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	生活エネルギーの削減に係わる部位(断熱材 開口部 換気 水栓 照明)の仕様・性能の標準設定をする。	◎
②建材・資材調達のコスト削減や事務の合理化	生活エネルギーの削減に係わる部位(断熱材 開口部 換気 水栓 照明)を、事務局が管理を行う事で合理化を図る。	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	グループ内施工登録会社を中心に納まり・工程の検討を行い、全体の研修会で調整を図る。	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	生活エネルギーの削減に係わる部位(断熱材 開口部 換気 水栓 照明)の流通・納まりを資料にまとめ、配布・HP掲載・研修会を行う。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	生活エネルギーの削減に係わる部位(断熱材 開口部 換気 水栓 照明)の流通・納まりを資料にまとめ、配布・HP掲載・研修会を行う。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールを設定	生活エネルギーの削減に係わる部位(断熱材 開口部 換気 水栓 照明)及び太陽光発電部材は、出荷証明書を事務局に提出。現場の検査項目ごと写真に記録し、事務局のホームページで公開する。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	生活エネルギーの削減に係わる部位(断熱材 開口部 換気 水栓 照明)の掛かり増し費用を、目安となる㎡単価にまとめ、基準価格とする。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	事務局のホームページに、完成現場をはじめ工事現場の進捗状況を掲載。お施主様をはじめ、多くの人にも記録が確認できるように公開する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡ゼロエネ住宅プロジェクトモデルプラン	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡ゼロエネ住宅プロジェクト	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のならいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	完成引き渡し後の点検は事務局が管理をし、施工会社立会いで専門業者が点検を行い、報告資料を取りまとめ、施工会社・お客様へ提出する。その内容は事務局で管理する。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	性能に係わる部分・部位のメンテナンス・リフォームは事務局に相談し合意を得る。事務局は、改修予定の仕様・間取りで性能値を計算し、改修前より性能が落ちることの無い仕様・施工となるよう留意する。	○
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	現場見学会・完成見学会に合わせて、エネルギー効率の良い住まいの説明会を催す。	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	グループ内施工登録会社を中心に、維持管理方法の情報・意見交換を行う。	○
b	①グループ構成員の倒産 業時のバックアップ体制	法律に従い、しかるべき管理者の元、事務局を中心に引き続き生活エネルギーを削減できる住宅の建設・維持管理に向け、最大の協力を行う。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	事務局管理の元、瑕疵保険会社は「住宅あんしん保証」を基本とする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入			
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	生活エネルギーの削減に係わる部位(断熱材 開口部 換気 水栓 照明)の仕様施工方法を工務店向けの資料にまとめ、配布・研修会を行う。	◎
	② ①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	施工中の物件で、生活エネルギーの削減に係わる施工のポイントを確認する。必要に応じ随時行う。	○
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	断熱施工時に、生活エネルギーの削減住宅の現場見学会・完成見学会に併せ、研修会を行う。また、広く告知し地域への浸透を図り、顧客やグループ会員を増やす。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合 理化への取組	静岡ゼロエネ住宅プロジェクトの告知資料を作成し、配布および事務局HP・グループ内各社HPに掲載する。	◎
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	グループ内登録会社の数は22人。	○
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	講習会の都度呼びかけを行う。講習会スケジュールは、資料配布またはHPに情報を掲載して周知する。	◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	広く集めた情報をグループ内で共有し、研修会で取り組みについて検討し、方針を決める。	○
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	研修会の結果、取り組む方針になった項目は、条件の合う現場で検証を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡ゼロエネ住宅プロジェクトモデルプラン	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡ゼロエネ住宅プロジェクト	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	軸組み工法・2×4工法共、構造躯体には伐採元が明確な木材を使い、不法な森林伐採など産地が不明確な材料を使用しない事で、各地域の自然環境の悪化を抑制する。 特に、製材・集成材製造・合板製造が海外である場合、本申請において、必要とされる本社の法人登記事項証明書及び念書の入手が不可能であるため、製材・集成材製造・合板製造の登録を行っていない業者の場合、製材・集成材製造・合板製造が適合していることを以下に示す。 (1)以下に該当する認定制度:森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて民間の第三者機関により認証された森林から算出される木材製品。 (2)原木の産出国がわかる書類に雛形の添付	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	軸組み工法・2×4工法共、構造躯体には伐採元が明確な木材を100%使用。	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	軸組み工法・2×4工法共、構造躯体には伐採元が明確な木材を使うことで、不法な森林伐採など産地が不明確な材料を使用しない。出荷証明を事務局へ提出とする。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み ②グループ全体における地域材の需給予測		
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用		
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組 ②地域の住まい方の継承につながる取組 ③地域の街並み形成へ寄与する取組 ④和の住まいの要素を取入れた取組		
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組			
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			
【考え方】 当グループ『静岡ゼロエネ住宅プロジェクト』では高度省エネ型住宅(ゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅)の提供を目指しております。 その特徴(仕様)は生活エネルギーを削減する事が主目的であるため、他に費用の高む項目を減らす事で、より多くの棟数を地域に提供する事を重要と考えております。			
【特徴】 ○外皮からのエネルギー損失を抑える為、吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(A種3仕様)を使用し、開口部はLow-E複層ペアガラスを使用します。特に吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材は充填性が高い事で、断熱材自身の性能以上に、居住後の快適性が期待できると考えます。 ○その他、給湯器・水栓・換気・照明を、温暖な地域なので過剰な性能は求めず、価格を抑えた仕様を基本とする事により、建築コストに対し効率的な生活エネルギーの削減を目指します。 ○太陽光発電は、性能や保証体制を確認し、将来に対し不安要素の少ないメーカー・製品を使用する			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。